

会 議 要 旨

会議名	第1回館山市景観計画策定委員会
開催日	平成29年10月5日（木）午後2時～午後4時15分
開催場所	鏡ヶ浦クリーンセンター 2階会議室
出席者	館山市景観計画策定委員会委員 7名 館山市：市長 事務局：都市計画課5名、委託事業者2名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>■会長・副会長の選出</p> <p>■議 事</p> <p>(1) 景観計画策定の趣旨について</p> <p>(2) 景観計画で定めるべき事項及び策定のスケジュールについて</p> <p>(3) 館山市の景観の現状について</p> <p>■会議概要</p> <p>(1) 景観計画策定の趣旨について</p> <p>○事務局説明に対する意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山駅西口を中心として進めてきた、「南欧風のまちづくり」と、館山城を中心とした和風なまち並みとの関係等についても議論する良い機会と考えている。南欧風のまちづくりについては景観計画の中で何らかの位置付けをするのか。 <p>⇒（事務局）「南欧風のまちづくり」の要素は計画内に入れていきたいと考えており、重点地区となっている西口周辺については、明確に位置づけしたいと考えている。市域全域を南欧風とすることは考えておらず、様々な面からバランスをとっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の区域についてどのように考えるか。 <p>⇒（事務局）海を含めた、館山市全域を区域とする。市域内では、地区ごとに特徴があるため、景観計画内で、エリア分けを行い、エリアごとに良い面を磨いていく形が良いと考えている。</p> <p>⇒海を区域とするのは、挑戦的な試みで、館山市の景観計画の特徴を出せると思う。</p>

(2) 景観計画で定めるべき事項及び策定のスケジュールについて

(3) 館山市の景観の現状について

○事務局説明に対する意見・質問

・残土の埋め立て等は資料にある届出対象行為に該当してくるか。

⇒(事務局) ある一定の時期だけストックしておくもので、通りから見た際に景観を阻害するものについて、届出をいただくことを景観条例で定めることになるかと思う。

・残土に関しては、市内でも元々森林であったところに残土山があり、景観にも影響を与えている。届出対象行為の選択可能な行為のうち、「土地の形質の変更」や「木竹の伐採」に位置付け、違反した場合には、規制等を求めることは可能なのか。

⇒(事務局) 残土に関しては議論の中で、届出対象行為とした場合には、規制等も考えていくことになると思う。その他、太陽光パネルや、電柱、風力発電施設等も景観に影響を及ぼす可能性があるため、そちらについても議論をしていきたいと考えている。

・ワークショップはどのような形を考えているか

⇒(事務局) タウンミーティング形式で、市内の4中学校区単位で行う予定。

・市民アンケートはどのような内容を検討しているのか。また、どういった方を対象に、サンプル数はどの程度を考えているのか。

⇒(事務局) 市民の方が考える景観の特徴や、守りたい景観がどこなのかといった部分を知りたいと考えている。市民を対象に1,500サンプル程度の紙媒体での実施、来訪者を対象に、500サンプル程度でのインターネットアンケートを想定している。設問項目は現在作成中となっている。

・単に、質問項目を羅列したアンケートとならないように、市としての方向性を示しつつ、地域らしい景観の特徴を導き出せるような設問項目を設け、館山市の景観の将来をどのようにしていきたいかまでを問えるような形にしていきたい。

⇒(事務局) 回答を故意に誘導するようなアンケートにはしたくないと考えている。アンケート実施までの間に委員の皆様から内容についてのご意見をいただければと考えている。

・街並み景観形成指導要綱における指導地区となっている西岬地区については、どのようなビジョンで景観形成を進めていたのか。

⇒指導要綱が作られたのが平成元年で、当時は全国的に開発等が盛んで、西岬地区と隣の神戸地区で、大きな開発の計画があり、その計画に合わせて指導地区を設定していた経緯がある。

・館山市には、海だけでなく、里山といったものも魅力となっていて、素晴らしい景観も有している。里山も計画のエリアに位置付けしてはどうか。

⇒（事務局）仰るとおり、館山市には、神余や畑地区のように千両を栽培しているような里山もある。そういった館山らしい部分にも注目していきたいと思う。

・地域資源の活用といった面で、例えば、建物を解体した際に出る瓦を処分せずに、歩道の整備に利用するなどのリサイクルの視点も持った景観づくりを行っていても良いのではないか。

⇒前述のように、景観と環境はリンクする点が多いため、非常に大事な視点である。庁内検討会も活用し、環境面との連携も図っていければと考えている。